

令和2年2月

臨時教育委員会会議録

十日町市教育委員会

令和2年2月臨時教育委員会会議録

1 開催日時、会場

令和2年2月28日（金） 11時00分～11時45分
十日町市役所防災庁舎 2階 大会議室

2 出席

蔵品泰治教育長、吉楽隆一委員、庭野三省委員、佐藤美佐子委員、浅田公子委員

3 説明のため出席した者

子育て教育部長（樋口幸宏）、文化スポーツ部長（富井敏）、教育総務課長（長谷川芳子）、学校教育課長（山本平生）、生涯学習課長（鈴木規幸）、文化財課長（佐野誠市）、スポーツ振興課長（庭野日出貴）

4 会議の内容

（1）会議録署名委員の指名

署名委員：庭野委員、浅田委員

（2）協議事項

① 新型コロナウイルスの対応について

- ・臨時校長会の報告
- ・今後の対応について

蔵品教育長

- ・説明を求めた。

山本学校教育課長

- ・資料に基づき説明

樋口子育て教育部長

- ・資料に基づき説明

吉楽委員

- ・通常の春休みの前までが今回の臨時休校であり、春休みは通常どおりであるならば、子どもたちは4月のいつまで家庭にいることになるのか。

山本学校教育課長

- ・令和2年度のスタートは、4月7日である。

庭野委員

- ・3月2日から、子どもたちの面倒をどうやって見ていくのかが問題である。小学校低学年の保護者や医療関係者で保護者である方が大変になる。教育委員会で対応策を考えなければならない。卒業式を実施することには安堵したが、子どもの対応についての具体策をどうするのか。

蔵品教育長

- ・子どもの対応については、後で説明する。3月2日からの学校休業について了承さ

れるか。

(了承)

蔵品教育長

- ・卒業式について対応を説明

庭野委員

- ・卒業式は時間が長いようだが、歌をやめるのか。

山本学校教育課長

- ・時間的な目途を30分程度としたうえで、内容については学校で判断する。

庭野委員

- ・送辞、答辞が結構長い。最低でも校歌を歌って卒業すべきだと思う。

山本学校教育課長

- ・次第についての指示は、教育委員会からは難しい。教育委員会告辞や市長の祝辞は、割愛する。

庭野委員

- ・中学校の例年の卒業式で、何を残して何をやめるかの判断を学校に任せていいのか。

山本学校教育課長

- ・卒業証書授与を核として、生徒数により時間も違うと思うので、それ以外は校長が学校の実情に合わせて検討するしかない。

庭野委員

- ・せめて式辞では、現状は大変だが頑張ろうということを校長から生徒に話があるべきだ。

山本学校教育課長

- ・式辞が無い卒業式はあり得ないと思うが、時間の制約がある中で、内容は学校が判断することになる。感染予防の観点から、在校生の参加を想定していない学校があるとも聞いている。

庭野委員

- ・在校生が出席しない又は一部しか参加しない学校もあるので、卒業生と保護者と教員だけでも良いと思う。

吉楽委員

- ・卒業式に参加する人を制限する中に、風邪気味とか熱があるということは、自己申告で判断するのか。そういう方は、前もって出席の自粛をお願いするのか。

蔵品教育長

- ・開催の案内文書の中で願います。

佐藤委員

- ・考えられないことが起きている。保護者が参加して卒業証書授与ができるのは良かった。

浅田委員

- ・卒業生の保護者として、出席できるか心配していたが、できるということで良かった。規模を縮小するのは、仕方ないことだと思う。

蔵品教育長

- ・低学年の対応について説明を求める。

樋口子育て教育部長

- ・放課後児童クラブの対応について説明

庭野委員

- ・具体的にどうするのかを考え、例えば学校で本を持たせるなどをしないと、子どもが暇を持て余してしまう。

山本学校教育課長

- ・これから学校に徹底を通知するが、今現在、指示できることが限られている。学校が、子どもたちに教材を持たせるとしても、準備が無いことも考えられる。学校と子どもたちが、連絡を取れる体制を作り、随時渡していくことも工夫するしかないと思う。学校教育課でも検討して、学校と相談したいと思う。高校入試については、予定どおり3月5日、6日に行う。

庭野委員

- ・中学校3年生は、学習は殆んど終わっている。小学校でも、1・2学期と1月からの内容で要録を作成しても良いだろう。問題は、家庭内に居るように言われる子どもたちで、睡眠と適切な食事と適度な散歩が必要という専門家もいる。濃厚接触が多いのは都会の満員電車などであり、地方では家の周りで外に出ることを勧めても良いのではないか。家の中だけに居れば、ゲームばかりになるのではないか。大変かも知れないが、教員が家庭訪問して、子どもたちの様子を見るのが、一番良いのではないかと思う。

吉楽委員

- ・情報館や博物館に子どもたちが行くこともあるから、通常どおり開館するのか。

蔵品教育長

- ・関連があるため、文化スポーツ部の説明を求める。

富井文化スポーツ部長

- ・資料により対応を説明

吉楽委員

- ・結論的には、様子を見ながらも通常どおり開館するという考え方で良いか。

富井文化スポーツ部長

- ・今現在の考え方はそうである。国では、スポーツジム等について、専門家が検討し

ているという情報があるため、どういう形で示されるのか待ちたい。また、東京都内の図書館で、閲覧禁止という対策をとったところもあり、感染の可能性が高いということも注視したい。先程言われたように、東京と当市では人口密度が全く違う状況であり、同じに考えて良いものなのか。情報館では、消毒液でしっかりと手を消毒してから入館していただくなど、今まで以上に注視することを考えている。

吉楽委員

- 学校の休業期間に通常は終業式がある。在校生は、そこで成績評価があって春休みに入る。しかし、入学式の4月7日まで学校へは集まらないという考え方なので、終業式については国、県、または市教育委員会で判断するのか。

山本学校教育課長

- 通知表については、必ず手渡しをしなければならないものではなく、書留郵便という方法でも良いし、家庭訪問をして渡すことも考えられる。子どもたちが学校に来ないことを想定したときに、より確実な方法を考えることになると思う。

吉楽委員

- この休業中は、個人の都合で休むのではない。どういう扱いになるのか。

山本学校教育課長

- 授業日ではない。欠席にはならない。

庭野委員

- テレビなどを見ると、共稼ぎの親が大変という嘆きがある。十日町市でもそうだと思うが、簡単には休めない人が沢山いると思う。例えば、各地区の公民館に子どもたちを集めて、退職した教員を配置して指導するようなことができないものか。

吉楽委員

- 毎日ではできないだろうから、週の中で何日かをそうやって過ごすという考え方もあるだろう。子どもたちだけではなく、各地域で公民館活動をされている方々にも、影響することになるだろう。

蔵品教育長

- 基本的に子どもは自宅にいてほしいというが、非常に悩ましいと思う。共働き世帯では、仕事を辞めざるを得ないということがあるかも知れない。

吉楽委員

- 休校と春休みの期間に、市内で小学生や保育園児、またはお年寄りから新型コロナウイルスが発症した場合には、関連する情報が教育委員会に確実に入るのか。休校でも学校にいる教職員に直ぐに連絡が入り、その後の対応をどうするかを想定しておかないと、春休みが終わっても、それで収まるとは限らないと思う。感染してしまったら、それを広げないように迅速に対応しないと大変なことになるだろう。教育委員会では、行政の他の部署と連携しておかないと後手の対応になってしまい、学校長の判断が難しい状況に追い込まれるのではないか。

蔵品教育長

- 明日、副市長を本部長にした災害対策警戒本部を立ち上げる準備を進めている。

吉楽委員

- ・中里地域は、保護者の皆さんの多くが介護施設で働いている。家族の中で陽性が出た時点で職場に行けなくなる。

蔵品教育長

- ・感染が多い地域では、医療現場が崩壊の可能性がある。そうならないように、対策を講じなければならない。

吉楽委員

- ・感染者数を一桁程度に封じ込めてしまわないと、感染経路が分からなくなってしまう。

蔵品教育長

- ・そういう危機感をもって、安倍首相は判断をしたということだと思う。介護施設に一人でも感染者が出れば、関係者は自宅待機等で、正常な施設の運営ができなくなる恐れがある。

吉楽委員

- ・そういう場合の事業所に、どういうサポートがあるのか。行政或いは国から発信してもらわないと困る。発信されれば安心できると思う。

庭野委員

- ・家庭をどうやって地域でサポートするのか。小規模で子どもたちの面倒を見るシステムを早く立ち上げた方が良いと思う。子どもたちは、家庭で大人しくしていないと思う。

佐藤委員

- ・自分自身もいつ感染するかわからない危機感がある。十日町病院では診られなくて、魚沼基幹病院まで行かなければならないということで、感染が疑われる場合が心配である。子どもたちに関して、家の中だけにいることは、良いとは思えない。教員が、通常どおり学校に居るのであれば、何らかの対応ができないかと思う。

吉楽委員

- ・医療体制も、風邪なのか新型コロナウイルスなのか、検査しなければわからないというところをもう少し議論して、明確な対応をしてほしい。

浅田委員

- ・低学年の子どもが、家で時間を持て余していると、親は子どもを残して仕事に行くのは心配だと思う。助けを求める人が居たら、手を差し伸べられるような体制を作してほしい。

樋口子育て教育部長

- ・放課後児童クラブについては、小学1年生から主に小学3年生まで、場合によっては4年生までを毎月利用日を申し込んで利用していただく。今回は、急に春休みが前倒しになったような形で、少し申込みが変わってくると思う。心配なのは、パンクしてしまうことで、どれくらいのニーズがあるかを照会しているところである。国は、感染が広がることを心配しており、親が家で面倒をみられないから預けたい

という気持ちは分かるが、積極的にどんどん受け入れるとなると、国の心配に相反することになりはしないかと、家庭にも協力をいただかなければならないと思う。

富井文化スポーツ部長

- 公民館の利用などについて、市の主催でなく利用団体の予約が入っているが、自粛する動きがあり中止の連絡がある。国が示している1、2週間の中で感染の大きな広がりにならないように、3月2日から学校を休業にしたと思う。状況を見ながら、不足する対応については今後検討すれば良い。公民館の利用が必要であれば、考えを巡らせる期間が、1、2週間であると思う。国内での感染は、まだ増えている状況の中で、やむを得ないと思う。しかし、ずっと先のものまで一気に中止しようというのではなく、様子を見ながら判断したいと思う。近隣での同様のイベントの情報を収集しながら、考えていきたい。

庭野委員

- 公民館ではなく、町内ごとにある集会所などの小規模のところで対応できないものか。公民館は、学校と同じようなものだと思う。教育委員会がリードしないと、地域ではなかなか思いつかないと思う。

蔵品教育長

- 日々刻々と、国からの指示があるのではないかと思う。本日のところは、以上の内容でご理解いただけるか。

(了承)

以上で、11時45分に蔵品教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記